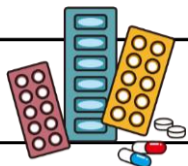
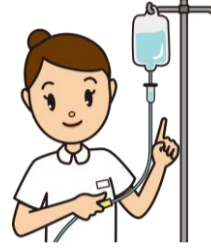


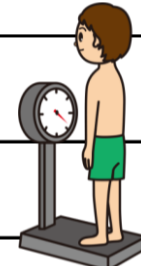










ハプロ移植を受けられる患者さんへ (移植当日～)

患者氏名：

主治医：

受け持ち看護師：

月日 項目	移植当日	移植後 1 日目	移植後 2 日目	移植後 3 日目	移植後 4 日目	移植後 5 日目	移植後 6 日目						
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 治療内容を理解して安全に治療ができる 感染予防の対策を継続して実施できる 												
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 移植時のお薬を飲みます 					<ul style="list-style-type: none"> 免疫抑制のためのエンドキサンという薬を点滴します 吐き気を押える点滴をします 							
	<ul style="list-style-type: none"> 過敏症予防の薬を点滴をします 幹細胞を医師が輸注します 輸注中、輸注後は血圧や体温、酸素飽和度を測ります 症状が出た時はすぐに中止して対処します 					<ul style="list-style-type: none"> 免疫抑制の持続点滴を行います 							
	<ul style="list-style-type: none"> 薬が飲めない時はお知らせください 貧血、血小板減少がある時は、必要に応じて輸血をすることがあります 理学療法士が部屋を訪問してリハビリテーションを行います 												
	<ul style="list-style-type: none"> 吐き気や発熱、かゆみなど症状がある時はお薬があります。看護師にお知らせ下さい 												
	<ul style="list-style-type: none"> 心電図モニターを装着し、心拍数や血圧、酸素濃度を監視します。医師の判断で異常がなければ外します 												
	<ul style="list-style-type: none"> 毎日朝食前に体重を測ります 												
検査	<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示で適宜採血やレントゲン撮影があります 												
活動・安静度	<ul style="list-style-type: none"> クリーンユニットの病室内のみとなります。医師の許可ができればクリーンユニット内まで活動範囲が広がります 												
食事	<ul style="list-style-type: none"> 移植食で柔らかい食事になります。弁当などの持ち込みはできません お茶は配られません。ペットボトル等の飲み物は、開封後 1 日で破棄しましょう 摂取できる食品についてはパンフレットをご覧ください 												
清潔	<ul style="list-style-type: none"> シャワー浴をしてください。体がきついときはお手伝いします うがいを毎日 5～6 回は行います 食事前、トイレの後、検査の後には手洗いをします 保湿剤を 1 日 2 回以上塗り、皮膚を保護しましょう 												
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 尿量は毎日測ってください 排便後はウォシュレットを使いましょう 												
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> 看護師がパンフレットを用いて副作用や対処法について説明します わからないことやご希望があればご相談ください 			<ul style="list-style-type: none"> 筋力低下予防のため、体調に合わせてリハビリテーションを継続しましょう クリーンユニット入室後は、ご家族の面会は可能ですが、1 度の面会で大人 2 人までとなります 口内炎の早期発見のため、口の中の観察を毎日行いましょう。歯科衛生士が歯磨き指導やケアを行います 管理栄養士が訪問し、食事についての相談をすることができます。ご希望があれば面談を調整します 一週間ほど経過すると、急性GVHD (移植片対宿主病) の反応がでる時期に入ります。皮膚、消化管、肝臓に症状が出るもので、詳しくはパンフレットをご覧ください 									

この経過表はおおよその経過をお知らせするものです。
諸処の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承ください。